



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月3日

上場取引所 東

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <https://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 章憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員事務本部長 (氏名) 山本 真也 TEL 075-541-4312

四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	120,846	13.6	9,600	8.5	11,373	29.0	7,502	71.4
2021年3月期第3四半期	106,332	△9.7	8,850	1.5	8,814	△4.3	4,377	△26.0

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 7,929百万円 (△12.2%) 2021年3月期第3四半期 9,032百万円 (69.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	340.18	—
2021年3月期第3四半期	198.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	204,957	146,880	70.5	6,549.77
2021年3月期	195,723	142,951	71.8	6,371.77

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 144,484百万円 2021年3月期 140,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2022年3月期	—	85.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	85.00	170.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	170,000	17.4	13,500	13.1	13,500	12.5	9,000	23.6	408.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P.10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	23,534,752株	2021年3月期	23,534,752株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	1,475,253株	2021年3月期	1,488,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	22,053,375株	2021年3月期3Q	22,045,652株

(注) 取締役等を受益者とする信託が保有する当社の株式は期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の普及により、経済活動の正常化に向けた動きが見られるなか、個人消費は一進一退の状態にあり、輸出は増加基調が持続しているものの、インバウンド需要は低迷が長期化するなど依然として厳しい状況が続いております。世界経済においては、中国は景気拡大に頭打ち感が見られるものの、米国・欧州はワクチン接種の進展による経済活動制限の緩和を受け景気が回復基調にあります。

化学業界におきましては、為替相場は米国の金融緩和政策の縮小が開始されたことなどにより円安傾向にあり、原料価格は原油価格上昇や需要回復により上昇傾向にあるなど、事業環境は依然として予断を許さない状況にあります。

このような環境下における当第3四半期連結累計期間の売上高は1,208億4千6百万円(前年同期比13.6%増)となりました。利益面では、売上高の増加などにより、営業利益は96億円(前年同期比8.5%増)、経常利益は持分法による投資利益の増加などにより113億7千3百万円(前年同期比29.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は75億2百万円(前年同期比71.4%増)となりました。

① 全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	106,332	120,846	14,513	13.6%	144,757
営業利益	8,850	9,600	749	8.5%	11,932
経常利益	8,814	11,373	2,558	29.0%	11,999
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	4,377	7,502	3,124	71.4%	7,282
1株当たり四半期(当期)純利益	198.56円	340.18円	141.62円	71.3%	330.34円
ROA(総資産経常利益率)	6.4%	7.6%	—	1.2ポイント	6.4%
ROE(自己資本当期純利益率)	4.5%	7.0%	—	2.5ポイント	5.4%
為替(\$、元)	\$=¥106.11	\$=¥111.14	¥5.03		\$=¥106.11
	元=¥15.45	元=¥17.26	¥1.81		元=¥15.68
ナフサ価格	28,800円/kl	53,200円/kl	24,400円/kl		31,400円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

② セグメント別の概況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間		当第3四半期 連結累計期間		増減		前連結会計年度	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
生活・健康	39,901	2,393	41,125	1,363	1,223	△1,030	54,302	3,195
石油・輸送機	26,778	2,468	31,165	2,703	4,386	235	37,316	3,365
プラスチック・繊維	15,323	1,902	19,478	2,773	4,154	870	20,802	2,705
情報・電気電子	13,144	1,300	15,245	1,623	2,101	322	17,096	1,439
環境・住設	11,183	784	13,830	1,136	2,646	351	15,239	1,226

＜生活・健康産業関連分野＞

生活産業関連分野は、ポリエチレングリコールが国内外ともに売り上げを伸ばし、また製紙関連薬剤が回復したことにより、売上高は大幅に増加しました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が主力の中国市場において顧客での急激な生産調整により一時的に販売が落ち込みましたが、その後回復基調となり売上高は横ばいとなりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は411億2千5百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は13億6千3百万円(前年同期比43.0%減)となりました。

＜石油・輸送機産業関連分野＞

石油・輸送機産業関連分野は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズの販売が横ばいとなりましたが、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料、潤滑油添加剤が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は311億6千5百万円(前年同期比16.4%増)、営業利益は27億3百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

＜プラスチック・繊維産業関連分野＞

プラスチック産業関連分野は、主力の永久帯電防止剤が引き続き好調に推移したことに加え、塗料コーティング用薬剤・添加剤、塗料用バインダーとして使われる樹脂改質剤も海外向けの需要が回復し、売上高は大幅に増加しました。

繊維産業関連分野は、炭素繊維用薬剤が売り上げを伸ばし、また自動車に使われる合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂、タイヤコード糸等の製造時に使用される油剤の販売が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は194億7千8百万円(前年同期比27.1%増)、営業利益は27億7千3百万円(前年同期比45.7%増)となりました。

＜情報・電気電子産業関連分野＞

情報産業関連分野は、重合トナー用ポリエステルビーズの販売が低調となりましたが、粉砕トナー用バインダーの販売が好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

電気電子産業関連分野は、半導体の急激な需要増により半導体用レジスト原料の販売が大幅に増加したことに加え、ディスプレイ用樹脂の販売も大幅に増加し、売上高は好調に推移しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は152億4千5百万円(前年同期比16.0%増)、営業利益は16億2千3百万円(前年同期比24.8%増)となりました。

＜環境・住設産業関連分野他＞

環境産業関連分野は、海外向け高分子凝集剤用のカチオンモノマーが売り上げを伸ばし、売上高は大幅に増加しました。

住設産業関連分野は、建築シーラント用原料および家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の販売がともに好調に推移し、売上高は大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は138億3千万円(前年同期比23.7%増)、営業利益は11億3千6百万円(前年同期比44.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末に比べて92億3千4百万円増加し2,049億5千7百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて39億2千9百万円増加し1,468億8千万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.3ポイント減少し70.5%となりました。

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高と比較し34億9千2百万円減少(前年同期は22億9千2百万円増加)し、当第3四半期連結会計期間末残高は201億5千5百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、105億9千2百万円(前年同期は149億8千4百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益107億8千万円、減価償却費71億8千5百万円、仕入債務の増加94億8千8百万円などによる資金の増加が、法人税等の支払額27億8千3百万円、売上債権の増加64億8千3百万円、棚卸資産の増加54億3千4百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、91億5千9百万円(前年同期は93億9千6百万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に67億2千万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、53億5千5百万円(前年同期は28億2千9百万円の減少)となりました。これは配当金の支払額36億2千8百万円、長期借入金の返済による支出7億円、短期借入金の減少4億9千4百万円(純額)などの資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、2021年11月5日に公表した業績予想に沿って推移しているため、通期連結業績予想を据え置いております。

なお、2021年11月5日に公表した連結業績予想に対する当第3四半期累積業績の進捗率は、下表の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
連結業績予想	170,000	13,500	13,500	9,000
(進捗率(%))	(71.1)	(71.1)	(84.2)	(83.4)
前期実績(2021年3月期)	144,757	11,932	11,999	7,282

※業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,647	20,155
受取手形及び売掛金	40,144	46,556
電子記録債権	1,370	1,723
商品及び製品	14,253	18,559
半製品	3,693	4,610
仕掛品	386	120
原材料及び貯蔵品	4,301	5,179
その他	1,576	1,615
貸倒引当金	△33	△34
流動資産合計	89,340	98,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,768	17,413
機械装置及び運搬具（純額）	28,264	27,744
土地	8,832	8,820
建設仮勘定	3,724	3,293
その他（純額）	2,666	2,515
有形固定資産合計	61,255	59,788
無形固定資産		
ソフトウェア	1,330	1,212
その他	2,254	3,275
無形固定資産合計	3,585	4,488
投資その他の資産		
投資有価証券	31,798	31,987
長期貸付金	2,937	3,862
繰延税金資産	368	365
退職給付に係る資産	2,270	2,331
その他	4,195	3,676
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	41,541	42,194
固定資産合計	106,382	106,471
資産合計	195,723	204,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	17,903	24,169
電子記録債務	4,448	8,037
短期借入金	6,874	6,465
1年内返済予定の長期借入金	1,400	1,400
未払費用	4,376	4,104
未払法人税等	1,352	1,425
賞与引当金	2,178	1,242
役員賞与引当金	100	90
営業外電子記録債務	952	809
工場閉鎖損失引当金	167	24
その他	6,468	4,887
流動負債合計	46,222	52,657
固定負債		
長期借入金	1,000	300
繰延税金負債	3,682	3,369
株式報酬引当金	315	350
退職給付に係る負債	28	35
その他	1,522	1,363
固定負債合計	6,548	5,419
負債合計	52,771	58,076
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	13,243	13,243
利益剰余金	106,662	110,515
自己株式	△5,848	△5,780
株主資本合計	127,109	131,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,069	10,109
為替換算調整勘定	1,802	2,811
退職給付に係る調整累計額	493	533
その他の包括利益累計額合計	13,364	13,454
非支配株主持分	2,477	2,396
純資産合計	142,951	146,880
負債純資産合計	195,723	204,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	106,332	120,846
売上原価	81,710	94,260
売上総利益	24,622	26,585
販売費及び一般管理費	15,771	16,985
営業利益	8,850	9,600
営業外収益		
受取利息	88	110
受取配当金	502	664
不動産賃貸料	102	98
為替差益	—	590
持分法による投資利益	—	413
その他	156	168
営業外収益合計	849	2,045
営業外費用		
支払利息	46	36
不動産賃貸原価	40	41
棚卸資産廃棄損	94	71
為替差損	230	—
持分法による投資損失	318	—
その他	153	122
営業外費用合計	885	272
経常利益	8,814	11,373
特別利益		
投資有価証券売却益	—	13
受取保険金	35	14
特別利益合計	35	28
特別損失		
固定資産売却損	27	—
固定資産除却損	695	621
減損損失	※1 347	—
経営統合中止に伴う損失	※2 838	—
その他	15	—
特別損失合計	1,924	621
税金等調整前四半期純利益	6,925	10,780
法人税等	2,202	2,915
四半期純利益	4,722	7,864
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	362
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,377	7,502

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,722	7,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,556	△959
為替換算調整勘定	703	984
退職給付に係る調整額	49	40
その他の包括利益合計	4,309	65
四半期包括利益	9,032	7,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,658	7,591
非支配株主に係る四半期包括利益	373	337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,925	10,780
減価償却費	7,174	7,185
固定資産除却損	695	621
減損損失	347	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△801	△942
退職給付に係る資産負債の増減額	38	4
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△9
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	101	106
受取利息及び受取配当金	△590	△775
支払利息	46	36
持分法による投資損益(△は益)	318	△413
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△13
売上債権の増減額(△は増加)	△1,660	△6,483
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,264	△5,434
仕入債務の増減額(△は減少)	1,356	9,488
その他	331	△1,524
小計	16,507	12,627
利息及び配当金の受取額	641	784
利息の支払額	△46	△36
法人税等の支払額	△2,118	△2,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,984	10,592
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△6,341	△6,720
有形固定資産の売却による収入	20	—
投資有価証券の取得による支出	△805	△880
投資有価証券の売却による収入	—	21
長期貸付けによる支出	△664	△1,027
長期貸付金の回収による収入	20	371
その他	△1,626	△923
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,396	△9,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,452	△494
長期借入金の返済による支出	△700	△700
自己株式の純増減額(△は増加)	△1	△3
配当金の支払額	△3,076	△3,628
非支配株主への配当金の支払額	△420	△419
その他	△84	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,829	△5,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,833	△3,492
現金及び現金同等物の期首残高	18,009	23,647
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△652	—
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	111	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,302	20,155

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※1 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類
京都府京都市	石油・輸送機産業関連製品製造設備	機械装置等

当社グループは原則として工場別に資産のグルーピングを実施しております。

石油・輸送機産業関連製品製造設備については一部製品の販売戦略変更による生産中止に伴い、他の用途に転用できない部分の帳簿価額の全額347百万円を損失として計上しました。その内訳は建物及び構築物6百万円、機械装置及び運搬具340百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

※2 経営統合中止に伴う損失

前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

株式会社日本触媒との共同株式移転による経営統合の中止に伴うものであります。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	39,901	26,778	15,323	13,144	11,183	106,332	—	106,332
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	52	52	△52	—
計	39,901	26,778	15,323	13,144	11,236	106,384	△52	106,332
セグメント利益	2,393	2,468	1,902	1,300	784	8,850	—	8,850

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位: 百万円)

	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送機 産業関連分 野	プラスチック・ 繊維産業関 連分野	情報・電気電子 産業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	合計
減損損失	—	347	—	—	—	347

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康 産業関連分 野	石油・輸送 機産業関連 分野	プラスチ ック・織 維産業関 連分野	情報・電 気電子産 業関連分 野	環境・住設 産業関連分 野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	41,125	31,165	19,478	15,245	13,830	120,846	—	120,846
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	51	51	△51	—
計	41,125	31,165	19,478	15,245	13,882	120,897	△51	120,846
セグメント利益	1,363	2,703	2,773	1,623	1,136	9,600	—	9,600

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	77,160	4,312	19,628	5,230	106,332	—	106,332
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,597	45	1,483	323	6,450	△6,450	—
計	81,758	4,358	21,111	5,554	112,782	△6,450	106,332
営業利益(又は営業損失)	7,804	194	1,318	△492	8,825	25	8,850

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	89,935	5,070	17,875	7,964	120,846	—	120,846
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,117	3	888	258	7,267	△7,267	—
計	96,052	5,074	18,764	8,222	128,113	△7,267	120,846
営業利益(又は営業損失)	9,385	162	587	△554	9,581	18	9,600

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	38,534	(25,342)	4,974	2,176	45,685
II 連結売上高	—	(—)	—	—	106,332
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	36.2	(23.8)	4.7	2.1	43.0

当第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	42,546	(25,931)	5,901	3,281	51,729
II 連結売上高	—	(—)	—	—	120,846
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	35.2	(21.5)	4.9	2.7	42.8

- (注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域
(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他
(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他
(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中東 他

3. 補足情報

四半期ごとの連結業績推移

前連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2020年4月～6月)	第2四半期 (2020年7月～9月)	第3四半期 (2020年10月～12月)	第4四半期 (2021年1月～3月)	累計 2021年3月期
売上高	32,813	33,119	40,399	38,425	144,757
営業利益	2,453	2,146	4,251	3,082	11,932
経常利益	2,608	1,765	4,440	3,184	11,999
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	1,490	839	2,047	2,905	7,282
四半期包括利益又は 包括利益	3,322	1,238	4,471	6,240	15,272

当連結会計年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (2021年4月～6月)	第2四半期 (2021年7月～9月)	第3四半期 (2021年10月～12月)	伸び率(%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	38,057	39,461	43,327	7.2	9.8
営業利益	3,091	2,826	3,681	△13.4	30.2
経常利益	3,581	3,280	4,511	1.6	37.5
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	2,193	2,224	3,083	50.6	38.6
四半期包括利益又は 包括利益	1,837	2,402	3,689	△17.5	53.5